

学力向上に向けた取組

函館市立潮見中学校

1 課題

- 『確かな学力』を育むための校内研究の充実
- 言語活動を重視した授業の工夫

2 課題解決の具体策

- ①地域公開授業参観日の開催
- ②ワークショップ型の校内研修を取り入れた研究の工夫
- ③授業改善（指導方法や学習形態等の工夫）

3 取組の概要

①について

11月1日（月）9：40～12：30、教師全員が授業を公開した。2，3教時は各教科はもとより数学TTや特別支援学級の自立の授業を公開した。4教時は全校道徳を公開し、本校の言語活動を重視した授業実践（研究1年目ではあるが）を広く保護者・地域に発信することができた。



②について

校内研修は大きく5教科ブロックと4教科ブロックに分かれ、それぞれ分担して本校の全国学力・学習状況調査やCRTの分析を行い、課題を探った。

また、今年度初めて特設授業の事後研でワークショップ型の研修を取り入れ、全員参加型の研修を深めることができた。

③について

『確かな学力』を身につけ、生徒一人一人の『達成感』を高める授業を構築するため、個々の特性や学習状況の違いをとらえ、個に応じた指導やグループ学習など、効果的な指導方法や指導形態を取り入れた。

特に数学科では今年度2，3年の選択教科で習熟度別の少人数指導を取り入れ、意欲の高まりなどの効果が見られた。また、授業評価からきめの細かい指導のできるTTや少人数指導は生徒からも好評であることが明らかになった。

4 成果と課題

- 今年度、初めて開催した地域公開授業参観は地域に本校の教育活動の一端を公開することができ、外部から高い評価をいただいた。
- 全教科で授業評価を効果的に取り入れることによって、授業改善につながると考えられる。